

天然記念物「平松のウツクシマツ自生地」の 再生に向けて自生地を整えました

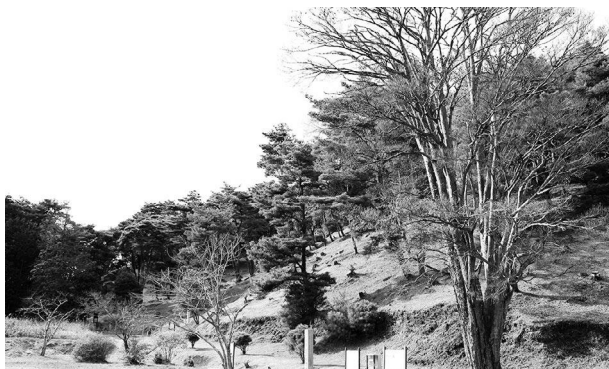
☎農林保全課〔東庁舎〕 ☎71・2330 📠72・7964

アカマツの一品種で美しい傘状樹形のウツクシマツ。世界でも「平松のウツクシマツ自生地」だけに自生しており、その自生地は国の天然記念物に指定されています。

3月1日、自生地の再生に向けて、樹齢100年以上とも言われたひととき大きく優雅な名木のウツクシマツが、立ち枯れてしまったため惜しまれながらも伐採しました。

今回伐採したウツクシマツは、一部を加工して永年保存することを検討しています。

また、3月8日には、地元平松区と平松長寿会の協力により生育した若木30本を自生地周辺へ移植しました。この若木は、自生地から採取した種子から育てており、林齢5～6年生を中心に地元で選定していただきました。40年前の「平松のウツクシマツ自生地」の優雅な美観を取り戻し、次世代へ引継ぐため、新たな一歩を踏み出しました。



「平松のウツクシマツ自生地」全景



伐採の様子



伐採されるウツクシマツを眺める人たち



切り倒されたシンボルツリー



市長、平松区長、三雲まちづくり協議会長による
記念植樹



地元の人による移植の様子
(たくさんの取材陣が来ていました)